

第9回東京芸術センター記念ピアノコンクール

主催：日本芸術センター
後援：公益財団法人 日本芸術協会

会場：東京芸術センター21F「天空劇場」



写真 左)本選の様子 右上)授賞式

2020年9月20日に第9回東京芸術センター記念ピアノコンクール結果発表および、授賞式が開催されました。一次予選～本選と演奏時間が長く、全て異なる曲目を演奏しなければならないため、力量があるピアニストでなければ通ることが難しいコンクールとなっておりました。そのため今年も国内外から実力あるピアニストが多数集結し、非常に

レベルの高い熱演が繰り広げられました。日本芸術会館にて定期演奏会が行なわれます。

今回は<金賞>該当なし、<特別賞>純子マッサーリアさん、<銀賞>森永冬香さん、<銅賞>四宮伶嗣さん、<優秀賞>高桑まやさん、<奨励賞>大竹千寛さんという結果になりました。また、本選に出場した8名のピアニストには招聘証が授与されており、今後は東京芸術センター・神戸芸術センター・

日本芸術会館にて定期演奏会が行なわれます。

本コンクールは優れた演奏家を顕彰する目的で開催されており、コンクールだけでなく、その後の演奏活動をサポートし、成長の場を提供することを特色としております。

審査員 紹介/コンクール講評

※順不同・敬称略

井上 千本



東京藝術大学附属高校を経て、東京藝術大学ピアノ科卒業。これまでに東京藝術大学院伴奏講師、日本女子大学、立教大学、東京藝術大学音楽学部講師を務める。オーストリアで研鑽を積み、ザルツブルク音楽祭、フランス革命200年記念演奏会(仏文化省助成)等に出演。幼少期より数々のコンクールに入賞して、カヴァ・ディ・ティレーニ国際ピアノコンクール入選、TBSラジオ、NHK・FM放送、フランス国営放送などで演奏、ヨーロッパ各地の国際音楽祭に出演。リサイタル、室内楽、オーケストラとの協演など演奏活動、教育活動、コンクール審査などを行う。最近は音楽が人間に与える好影響や、新しい社会を構築する上の音楽や芸術文化の役割などについて研究を進めている。

【講評】

今年は、パンデミックで2月末から音楽分野でも中止や延期を余儀なくされる中で、安全を確保した上でコンクール開催の決定になったと思います。その中でも音楽芸術の歩みを止めず開催して下さった日本芸術センター会長村井敏氏はじめ、事務局の方々にまず敬意を表します。予備から本選まで審査をした中で、各出場者も予選毎に様々な演奏を披露してくれました。本選に残れなかつた人の中にも充分本選出場の実力を備えた人も複数いました。演奏の完成度を含め、本コンクールの特徴であるリサイタル開催のチャンスを得、ここで演奏会をしてきた先輩達のように、さらなる成長の機会があると思います。ピアノ音楽という総合的音楽表現芸術を、人生や人々の為にも一層極めて参りましょう。おわりに、このような社会情勢の中でも参加してくれた全出場者に拍手を送ります。

長島 達也



学生時代に数々の国際コンクールで優勝しプロとして演奏活動を開始。今までにカーネギーホール、ロイヤル・アルバートホール、ウインズ・エリザベス・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、モスクワ音楽院大ホールを始めとする世界各国の超一流ホールで演奏。協奏曲のリストとしても、V. グルギエフ、D. ガッティ、I. ホブソン等の名指揮とロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・ドイツ響、ベルリン放送響、ロシア国立響、インディアナポリス響、アメリカ響、チェコ国立響など数々の名門オーケストラとの共演を重ねている。30年もの海外生活に終止符を打ち、去年日本に帰国。現在、横浜のリッシュモア音楽院で音楽監督も務めている。

【講評】

今回は、演奏者一人ひとりの情熱的な演奏から、それぞれの個性とメッセージが伝わってきて、とても楽しませていただきました。みなさんの日頃の努力や音楽に対する愛情が反映されていたように思います。真のピアニストというのは、ピアノというオーケストラのような楽器を自由自在に操りながら、音楽を通して自分のストーリーを聴く人に伝えることのできる人のことを言うのだと思います。今後も様々な楽曲を学び、平行して文学や美術からも影響を受けながら、自分のスタイルや音楽的な個性を追求していく下さい。近い将来、みなさんのさらに進歩を遂げた演奏に再び出会えることを心から楽しみにしています。

入賞者/入選者 プロフィール

特別賞

純子 マッサーリア



ピアノを田中陽子、奈良場恒美、A.ルケシーニ、L.マルガリウスの各氏に師事。ピアノのほか、ハープ、声楽、チェンバロ、作曲を学ぶ。イタリア共和国大統領賞受賞。欧洲を中心にソロ、室内楽、オーケストリストなど幅広い演奏活動を行なっている。

その間19年におよび難病に見舞われるが、音楽を諦めることなく、病と共生しながら演奏活動を続ける。

2019年春、奇跡的に病が消失。その後独奏を中心とした演奏活動を広げている。GMMPIANOアカデミーイタリア／日本においてピアノソロ、室内楽など若手の後進指導にもあたり、国際コンクールなどで優勝／入賞者を数多く輩出している。イタリア在住。

銀賞

森永 冬香



ピティナ・ピアノコンペティションJr.G級、Pre特級全国決勝大会出場。

全日本学生音楽コンクール中学校部門全国大会出場。かながわ音楽コンクールユースピアノ部門ヤマハ賞。

Imola Piano Awards 2019 Aカテゴリー(17歳～25歳) 第2位。

ソナタコンクールソナタ部門全楽章コース銅賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学1年在学中。東誠三氏、日比谷友妃子氏に師事。

銅賞

四宮 伶嗣



横浜市立学校総合文化祭中学校作曲コンクール自由創作の部 2年連続最優秀賞を受賞。第21回TIAA全日本作曲家コンクールソロ部門入選。母校横浜市立中川中学校創立70周年記念式典の為に委嘱作品「Recollectionsピアノとクラリネットのため」を作曲。

第27回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門高校男子の部 第2位。

第7回Kジュニア&学生音楽コンクール高校生の部 第2位及び審査委員長賞を受賞。第5回K Pianoコンクール高校生の部 第1位。現在ピアノを江口玲、藤代のりこ各氏に、作曲を松木日之春氏に師事。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻1年在学中。

優秀賞

高桑 まや



愛知県立芸術大学卒業。同大学大学院博士前期課程修了。これまでに、小島理恵、大崎裕美、杉浦日出夫、本村久子、西川秀人、奥村真、掛谷勇三の各氏に師事。

第1回なごや青少年ピアノコンクール第1位、愛知県議会長賞受賞。第39回ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会入選。第4回岐阜ピアノコンクール第1位、第19回日本ピアノコンクールファイナリスト(入選)。第5回東京国際ピアノコンクール第2位(1位なし)。第2回ギャラクシティ音楽コンクール第1位。

現在、愛知県立芸術大学客員共同研究員。

奨励賞

大竹 千寛



武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーソ学科卒業。現在、同大学大学院修士課程ヴィルトゥオーソコース2年次在学中。

第1回”Piano Loop Competition”(クロアチア)クロアチア人作品最優秀演奏賞。

第59回全東北ピアノコンクール第2位。

第9回神戸芸術センター記念ピアノコンクール入選。2018年「武蔵野音楽大学管弦楽団 定期演奏会」にピアノ協奏曲のソリストとして出演。2019年「武蔵野音楽大学新人演奏会」「第89回読売新人演奏会」に出演。ピアノを及川憲治、及川浩治、酒井起世子、K.ガネフ、J.ガネヴァ、K.ゲキチ、I.イーティンに師事。2020年度(公財)日本芸術協会奨学生。

入選

早坂 忠明



北海道出身。東京藝術大学を経て、同大学院修士課程を首席で修了。卒業・修了時に、クロイツァー賞、大学院アンサンス音楽賞、藝大クラヴィア大賞、同声会賞を受賞。第10回ルーマニア国際音楽コンクール第1位など、各種コンクールで入賞。2015～2019年にリスト音楽院セミナー受講等、研鑽を積む。宗次エンジェル基金／新進演奏家国内奨学生。ピアノを柴田まゆみ、宮澤功行、樋口英子、山本智子、金子恵、渡邊健二の各氏に師事。横浜市立戸塚高等学校特別非常勤講師。今春より東京藝術大学大学院博士後期課程に在籍。バルトークのハンガリー民謡編曲作品における演奏解釈について研究している。

入選

田中 真緒



東京学芸大学附属高等学校を経て、桐朋学園大学音楽学部、同大学院卒業。ドイツ・マンハイム国立音楽芸術大学大学院を首席で卒業。

これまでにピアノをロベルト・ベンツ、練木繁夫、今井彩子、高木早苗、宮崎芳弥、萩原真理子の各氏に、チェンバロを上尾直毅氏に師事。

ヴィラ・フランカ・ディ・ベローナ国際コンクール第2位、ピティナ・ピアノコンペティションG級入選等、国内外で受賞する。「桐朋学園大学 梅津時比古学長が推薦した学生によるランチタイムコンサート」出演。エール管弦楽団定期演奏会にてグリーグのピアノ協奏曲を協演。

留学中はシュテファン・ブルニエ氏と協演した他、ドイツ各地で演奏会に出演し、研鑽を積む。

入選

波田 紗也歌



愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部3年に在学中。第6回マリア・エレーロ国際ピアノコンクール 第1位。

第2回スタンウェイ・コンクールin Japan D部門第1位、大賞、聴衆賞。第16回インターナショナル・スタンウェイ・フェスティバル2014 in ドイツ・ハンブルクにて各國大賞受賞者と共に演奏。

第1回めいおんピアノコンクール高校生部門第1位、アルティストヌール賞。これまでに浜松国際ピアノアカデミー、Music Alp夏期国際音楽アカデミー、ティニュを受講し、アンナ・カリコヴァ、ブルーナ・リギット、ペーヴェル・ギリコフ各氏のレッスンを受ける。

現在、清水敦子、清水皇樹、江口玲各氏に師事。